

編集 後記

編集後記執筆中、私が住む長崎は観測史上最大の積雪に見舞われました。当日は、公共交通機関が全面的にストップしたため、2時間半かけての徒歩通勤でした。今回の積雪はあらかじめ予想されていた訳ですが、突然の災害時にはさぞ大きな混乱を招くだろうと雪道を歩きながら考えました。

さて、今月号でお届けする「岩手県陸前高田市未来凶会議が果たしてきた役割」、および「東日本大震災における医療救護活動への宮古保健所の対応」は、まさに予想外の大震災時に展開された保健医療分野の活動とその評価が紹介されています。現場での懸命な活動から得られた貴重な経験知を、量的・質的情報をもとに整理し、後世に伝える力作です。また「アンケート調査による入浴事故対策事業の評価」では、入浴事故の予防法についての認知度と実践割合には大きな隔たりがあることを示していただきました。予防法は理解していても、実践できない現実があることを改めて感じさせられた報告でした。

今月号掲載の公衆衛生活動報告3編のうち2編は保健所からの投稿論文でした。各地の公衆衛生の現場では、ユニークな事業が多く展開されていることと思います。現場での実践の記録を整理し、経験や知識を共有するためにも、ぜひ日本公衆衛生雑誌への投稿をひとつの機会にいただければ幸いです。たくさんの投稿をお待ちしております。
(福田英輝)

次号予告 (第63巻・第3号)

原著

中高年者を対象とした地域の子育て支援行動尺度の開発……………小林江里香, 他
中学生におけるライフスタイルと愁訴との関連性
熊本県の横断調査結果から……………渡邊純子, 他
喫煙習慣と肺および胃, 大腸がん検診受診の関連
……………濱 秀聡, 他
要支援高齢者における介護保険サービス利用パ
ターンと虚弱性との関連性……………吉行紀子, 他